

先生各位

「抗p53抗体測定」新規保険収載のご案内

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

このたび、新規腫瘍マーカーとして2007年5月に製造承認された「抗p53抗体」について保険適用が承認されましたのでご案内申し上げます。

謹白

記

項目名：抗p53抗体測定

保険点数：170点（2007年11月1日より適用）

判断料：生化学的検査(Ⅱ)判断料 135点（月1回につき）

検査目的：食道癌・大腸癌及び乳癌における血清中のp53 抗体測定

有用性：本検査は腫瘍マーカーである抗p53 抗体を測定するものであり、食道癌・大腸癌及び乳癌が強く疑われる患者に対して使用する。癌患者の20～30%において血清中の抗p53 抗体が陽性であるが、この抗体は、他の腫瘍マーカーと陽性率で重なりが少なく、組み合わせによる測定が有効である。また、特徴として、比較的早期のがん、すなわち治療によって根治できる可能性の高い段階での陽性率が高いことがあげられる。これらのことから、臨床上有用 であると考えられる。

「抗p53抗体」は、癌患者の体内に産生される変異したp53に対する自己抗体を検出するもので、早期（ステージ1あるいは2）の大腸癌、食道癌、乳癌の診断が可能です。特に食道癌では従来有用な腫瘍マーカーが存在していませんでしたが、この検査では早期食道癌でも高い陽性率を示します。また、大腸癌の早期ステージにおいてp53 抗体は従来腫瘍マーカーCEA に比べ、高い陽性率を示します。

「抗p53抗体」は、血清で検査されるので、画像診断・組織診断より簡便です。

- 食道癌・大腸癌・乳癌の診断の補助に
- 「腫瘍マーカーとして初の自己抗体検査です。」
- 既存マーカーより早期癌の検出率が高い。
- 他の腫瘍マーカーとの組合せで陽性率が上昇します。

☆なお、「抗p53抗体」検査の保険と出検に関する詳細は追って連絡させていただきます。